

IPMEN ・ NGB 共催セミナー  
「これからの海外知財戦略を考える」  
－新興国、技術移転、特許ビジネスの現状および留意点－

IP Management Experts Network より、岡本 清秀氏、上柳 雅誉氏、黒瀬 雅志氏 の3名をお招きし、新興国、技術移転、特許ビジネスの現状および留意点に関して、講演して頂きます。

既にご存知の方も多いと思いますが、IP Management Experts Network(知財マネジメント専門家ネットワーク)は、知的財産に関し国際的に豊富な知識と経験を備えた知的財産専門家が中心となって2015年1月に設立された専門家のネットワークです。法律事務所での実務経験、民間企業の知的財産部門長としての経験、また、現在も大学・大学院において知的財産権に関する研究・指導に関わっておられるなど、何れも豊富な経験を有する方々です。

以下、講師の方々から頂いた講演要旨(講演順)です。

**I. 「グローバル市場で勝ち抜く技術知財戦略—特許とノウハウの使い分け、技術ライセンスの留意点—」**  
岡本 清秀氏 (岡本 IP マネジメント代表 元 オムロン(株)知的財産部長)

大競争時代のグローバル市場で、新規事業を成功させるために、如何に発明を発掘創出し、特許・ノウハウによる知的財産権で保護取得すべきか、取得した知的財産権を事業にどのように活用すべきか、侵害リスクを如何に解決すべきか、また、新技術や新製品を第三者に紹介する場合の留意点や技術ライセンスにおける留意点について事例を交えて解説します。

**II. 「企業における海外知財戦略の考え方と強化ポイント」**  
弁理士 上柳 雅誉氏 (上柳 IP マネジメント代表 元セイコーエプソン知的財産本部長)

海外から日本企業は権利取得には熱心だが、活用には熱心でないとよく言われます。痛いところを突かれています。原因は、海外出願比率を上げよとの掛け声のもと、出願ありきで知財戦略が不在なためと思われる。経営が知財に求めるものを基準として海外知財戦略を考察し、中国知財、米国トロール訴訟などの状況を踏まえ、我が国企業の海外知財戦略の強化ポイントを説明します。

**III. 「最近の中国、ASEAN、インドの知財制度の現状を確認し、日本企業の今後の知財戦略を考える」**  
弁理士 黒瀬 雅志氏 (黒瀬 IP マネジメント代表)

中国は中期知財戦略の節目の年に当たる2020年を目前にして、その知財環境が激しく変化しています。また、2015年末にASEAN共同体が発足し、各国は知財制度を徐々に改善しています。法改正に時間のかかるインド知財制度においても、運用において従来の問題点が解消されつつあります。これらの国々における知財制度の現状を確認し、今後の日本企業の知財戦略を考えます。

IPMEN 講師陣の経験談を交え、「これからの海外知財戦略を考える」上でのポイントをご説明頂きます。今年、初めて知的財産業務に携わることになった方にも参考になる内容だと思います。是非、この機会をご活用ください。

IPMEN・NGB 共催セミナー

「これからの海外知財戦略を考える」

— 新興国、技術移転、特許ビジネスの現状および留意点 —

【日時】2018年6月19日(火曜日) 午後1時00分～午後5時00分(12時45分開場)

【会場】港区西新橋1-7-13 虎ノ門イーストビルディング 日本技術貿易株式会社 4階 A会議室

【定員】60名(参加費無料)

【講師】IPMENより 岡本 清秀氏、上柳 雅誉氏、黒瀬 雅志氏

【プログラム概要】(各セッション終了時に10分間の休憩を予定)

12時45分	開場
13時00分	第1部 開演(岡本 清秀氏) および Q&A
14時10分	第2部 開演(上柳 雅誉氏) および Q&A
15時20分	第3部 開演(黒瀬 雅志氏) および Q&A
16時30分	講師によるパネルディスカッション(モデレーター:NGB 飯野 昇司)
17時00分	セミナー終了

セミナー参加のお申し込みは <https://www.ngb.co.jp/seminar/ip.html> にて承っております。

会場: 日本技術貿易株式会社 4階 A会議室



■住所

〒105-8408  
東京都港区西新橋1-7-13  
日本技術貿易株式会社 IP総研  
電話 03-6203-9387

■交通

- ・東京メトロ銀座線虎ノ門駅(1番出口)徒歩2分
- ・東京メトロ丸の内線霞ヶ関駅(B2番出口)徒歩7分
- ・東京メトロ千代田線・日比谷線霞ヶ関駅(C3番出口)徒歩5分
- ・都営三田線内幸町駅(A3番出口)徒歩4分

お問い合わせ 日本技術貿易株式会社 IP総研 【担当】折田、長谷川

TEL: 03-6203-9287 e-mail: ip-seminar@ngb.co.jp